

# 社会に貢献する名犬を育成

瑞浪市日吉町にある、国際犬訓練所。近年、動物とともに生活をする人が増え、遠方からも多くの人が訪れます。飼い主の悩みを解決し動物との生活をサポートする一方で、警察犬の育成にも力を入れています。



国際犬訓練所所長・真鍋嘉孝さん。警察から警察犬帯同の捜査依頼が入った時は、真鍋さんがハンドラーとして帯同します

## じっくりと向き合う訓練で飼育トラブルを改善

国道19号から旧中山道を進むこと約20分。木々の緑が美しいエリアに国際犬訓練所があります。設立は、51年前。近年は犬を飼う人が増加し、訓練やしつけを希望する飼い主が増えているのだそうです。「東海エリアだけでなく、遠方からも訓練所を訪れる人が多い」と、日本警察犬協会公認の三等訓練士でもある所長の真鍋嘉孝さんは話します。

飼い主から犬を預かってしつけをする「預託訓練」は、生後数カ月の幼犬から入所可能。犬種によって異なるものの、訓練期間は最低3カ月です。訓練は入所日から始まりません。まずは訓練所の環境と犬を訓練士に慣れさせるための期間を設けます。そこで用いられるのが、獲物を捕らえて自分の住処に持ち帰る「持来欲」を生かした訓練。「遠くに投げた枝やボールを取りに行かせ、戻ってきたらきちんと褒める。そんなアクションを繰



ジャーマン・シェパードは持来欲が強く、警察犬に向いています

り返すことで、信頼関係を築きあげていくのです」

入所1カ月が経過すると、本格的な訓練を開始。競争やじゃれ合いなどの遊びを通して「スワレ」「フセ」「マテ」「コイ」「アトヘ」などのコマンド（飼い主の指示）を身につけていきます。一般的には「スワレ」からスタートしますが、犬の性格によっては「コイ」「フセ」などを先に教えていくこともあります。

全てを一気に覚えさせるのではなく、様子を見ながら徐々にしつけていくことがポイント。「まずは焦らず、犬とじっくり向き合うことが大切」と真鍋さんは訓練のコツを明かしてくれました。

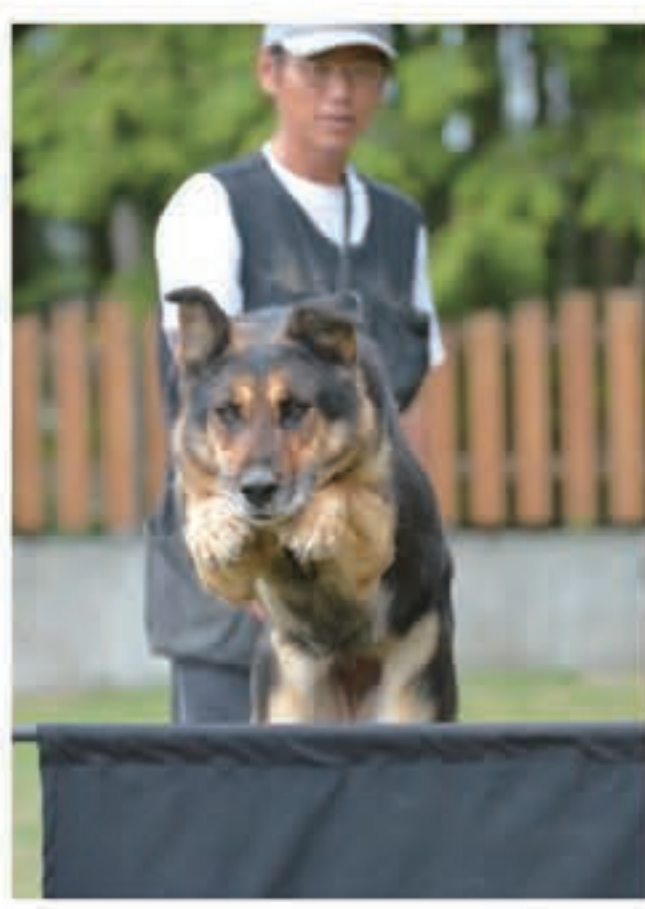
変化が現れるのは、入所2カ月を過ぎた頃。初めはよそ見をしていた犬が、コマンドに対して適切に従うようになります。訓練所の環境に慣れさせるため、入所1カ月は飼い主との面会が禁止。入所2、3カ月後に面会にやって来た飼い主は、犬の成長ぶりに驚くとともにうれしさをにじませるそうです。

通所型の「しつけ教室」は毎週土曜日（申込制）に開催。飼い主と犬の主従関係を成立させることを目的とし、しつけや飼育方法を指導しています。

飼い主が頭を抱えるのは、ほかの犬に吠える、言うことを聞かないなどの悩み。従わせているつも

右) 真鍋さんとともに訓練を積むミライ。障害物を飛び越える訓練をしています 中) 「フセ」の姿勢で指示を待つ犬たち。訓練を積んだ犬になると、長時間この姿勢を維持して待つことができるように。(毎週土曜日開催の「しつけ教室」の様子)

左) 「岐阜ラブラドル・レトリバー・クラブ」では、毎年5月に胸ヶ根にてオーナーと犬が交流を囲みます



メンバーを募集しています

りでも、犬は理解していないことがほとんど。主従関係をしっかりと築き、「私が主人である」ということを飼い犬に示せば、多くの飼育トラブルは解決できるのです」

## ミライが活躍中！警察犬育成で地域貢献

訓練やしつけ教室以外に特筆すべき業務が警察犬の育成です。警察犬とは、犯罪捜査に適するように飼育、訓練した犬のこと。人間の3〜6千倍といわれる犬の嗅覚が事件解決に大きな役割を果たしています。

「捜索に役立つ警察犬を世に送り出すことで、地域に貢献したい」と国際犬訓練所では、先代から受け継いだ業務に、一層の力を注いでいます。

警察犬として認定されるためには、年に一度開催される都道府県の審査会で規定の点数を獲得しなければなりません。犬の鼻の能力を最大限に発揮させるためには、日頃の訓練の積み重ねが重要。国際犬訓練所では、足跡臭を追跡させて犯人や遺留品、行方不明者の発見を目的とする「足跡追及訓練」や遺留品と犯人の臭いを結びつける「臭気選別訓練」などを行っています。ミッションをクリアできたら褒めることを何度も繰り返して、意欲を鍛えあげていきます。

真鍋さんは11月に開かれる岐阜県警察嘱託警察犬審査会に何度も参加。これまで3頭を警察犬とし

て育てあげました。初めて審査をクリアしたのは、2000年。「何度か挑戦したあとの結果とあって、喜びは格別でした。私の実力が認められたというよりは犬の努力が認められたのがうれしい。犬を褒めてあげたい気持ちでした」

現在は、ジャーマン・シェパードのミライ（7歳・メス）が活躍中。ミライは、一昨年警察犬として認定され、4月には多治見警察署から警察犬の委嘱を受けました。これまでに行方不明者の捜索や強盗犯の追跡で力を発揮。委嘱式にミライと出席した真鍋さんは「地域に貢献したい気持ちがより強くなった」と感じたそう。

訓練所では1996年に、ラブラドル・レトリバーのオーナーが集まる「岐阜ラブラドル・レトリバー・クラブ」を立ち上げました。さらに、イギリスから審査員を招き、大規模なドッグショーも開催。国内のオーナー同士の絆を深めることにも尽力し、ラブラドル・レトリバーを飼育すること、その普及にも努めています。



INFORMATION  
株式会社 国際犬訓練所  
瑞浪市日吉町3415-24  
☎ 0572-64-2011  
http://www.internationalabs.jp/